

会長挨拶

全日本中学校長会会長 川越豊彦



第七一回全日本中学校長会総会の開催にあたり、一言、御挨拶申し上げます。

冒頭、コロナウイルス感染症に対し、現在も命をかけて立ち向かわれている医療従事者の皆様、そして、関係の皆様から敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。また、亡くなられた皆様の御冥福をお祈り申し上げますとともに、現在、闘病中の皆様の一日も早い回復をお祈りいたします。昨年十二月、中国の湖北省武漢市において最初の症例が確認された新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に世界中に感染が拡大し、多くの人命を奪うなど、甚大な被害をもたらしています。日本国内においても四月十六日には、全ての都道府県に緊急事態宣言が発令され、学校の臨時休業期間は長期化し、子供たちの学習保障をはじめとする様々な課題が生じました。また、各地区中学校長会においても、令和二年度に開催予定であった各地区研究協議大会は全て中止することとなりました。併せて、全日本中学校長会においても十月に予定されていた全日中和歌山大会について中止の決断をせざるを得ませんでした。これまで、長年にわたって開催準備に当たってこられた各県の校長会、事務局の皆様の中を考えますと、おかけする言葉が見つかりません。

例年であれば、この総会も議員の皆様には、東京にお集まりいただき開催いたしますが、新型コロナウイルス感染症の拡大を抑止するため、Web会議に変更させていただきました。総会開催にあたり、Web会議実施のための環境整備に御尽力いただいた各都道府県中学校長会事務局の皆様にごの場をお借りして御礼申し上げます。さて、新年度が始まって二か月が経過しようとしています。この間、多くの地域で臨時休業措置がとられてきま

したが、五月十四日に三九県において緊急事態宣言を解除する方針が示されました。そして、翌十五日には、文部科学省より「新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた学校教育活動等の実施における『学びの保障』の方向性等について」が示されました。このような国の動向を踏まえ、NHKの調査によれば、五月十八日現在、一〇県で学校が再開され、一四県が今月中の再開を予定しています。今後更に、各地区において、学校再開の動きが加速化することと思います。

しかし、新型コロナウイルス感染症に関して予断を許さない状況が続いており、学校が日常を取り戻すまでには、まだまだ時間を要します。これまで、医療従事者の皆様をはじめ、多くの人々が未知のウイルスと闘ってききました。学校が再開し、子供たちを学校に迎えることで、私たちと未知のウイルスとの闘いが本格的に始まります。学校再開を心待ちにしていた子供たちのためにも、私たちはこの闘いに負けるわけにはいきません。

十五日付の通知には、「新型コロナウイルス感染症とともに生きていかなければならないという認識に立ちつつ、子供たちの健やかな学びを保障することとの両立を図っていくことが重要」と再開後の学校教育の在り方について示されています。また、「授業時数の確保は当然のこととして、学校行事等も含めた学校教育ならではの学びを大事にしながら教育活動を進めていくことが大切である。」と再開後の教育活動の在り方についても述べられています。感染拡大防止のための分散登校など授業コマ数を確保する上で様々な制約がある中、通知で述べられているような教育活動を展開するためには、どのようにしたらいいのか。特に通知で述べられている特例的な対応をとることができない三年生に対し、卒業までの中学校生活をいかに充実したものにするか、この問いに対して答えを見いだすのは、校長の責務であります。この答えのない問いに対し、答えを見いだすために、「実践もあり理論もある有言実行の教育の実践的専門家集団」である全日本中学校長会の会員の皆様の知識と経験に裏付けられたお知恵をお貸しくださいますようお願いいたします。

例年であれば、この開会の挨拶において全日中の昨年度一年間の活動を御報告するところですが、時間にも限りがございます。総会資料に記載しておりますので、そちらを御覧ください。

結びに、昨年度の会長就任挨拶で全日中新教育ビジョンの策定を約束させていただきましたが、その初版が完成したことを御報告いたします。今後、全日中新教育ビジョンに基づき、中学校教育の充実・発展が一層図られるとともに、会員の皆様お一人お一人のますますの御活躍を祈念して開会の挨拶いたします。